ONE PIECE

輸送サービス労組 上野支部
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION -UENO-

2024．09．22　No.028

車軸の取り付けの際の圧力の基準値外、JR東日本でも発覚！

改ざん
発　覚

9月20日、報道により「2008年～2017年の9年間、車輪を車軸にはめ込む作業で、在来線の1187本に「安全性に問題はない」と判断し、圧力が基準値に収まるよう記録簿の数値の書き換えを繰り返し行ったデータの改ざんがあった」ことが判明しました。JR東日本は、当時、国へ報告せず公表もしていません。国交省は「安全確保の仕組みを根底から覆す行為だ」として、JR東日本に特別保安監査を決めたとのことです。

2009年の「信濃川発電所不正取水問題」と同様で同時期の「改ざん・隠ぺい」です。JR東日本にコンプライアンス軽視の不正体質が未だに蔓延っており、「現場の声を聞かない」などの会社の官僚体質が安全性の軽視として現在にまで至っていることに、私たちは警鐘を鳴らします。

新幹線の分離の事象で高岡東北本部長は「安全性への不安というのは話をごっちゃにしている。安全に停車をしたし、お客さまの生命に重大な支障が及ぶ事象もなかった」と定例記者会見で述べ、一方で「安定に運行ができなかったこと」をお詫びし、安定性のみを強調しました。しかし、この主張は結果論であり、危険な考え方と認識します。事象に向き合い、原因を究明し、早期に対策を講じなければ「つばさ号の郡山駅オーバーラン」のように事象が繰り返し発生してしまう可能性が残るからです。

JR貨物での改ざん発覚を皮切りに、各鉄道会社でも次々に改ざんが発覚しています。鉄道会社にとって「安全」より大切なものはありません。現場で安心して働くためにも健全な経営を求めます！！

不正は許されません！安全な鉄道を目指そう！